

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	063
事務事業名 防犯対策経費										補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単
担当部 産業振興部										担当課	生活環境課
担当係 交通・防犯係										係	
位置付けられている計画等										根拠法令及び市条例等	

2 事務事業の目的									
現状課題									
望ましい状態									

3 事務事業の主たる成果指標									
指標名	犯罪発生件数(刑法犯総数)	単位	件	目標値	400	目標年次	2021	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)

4 事務事業の実績																	
年度	平成28年度			平成29年度			平成30年度										
	業務名	活動量		業務名	活動量		業務名	活動量									
	① 防犯パトロール	180回		① 防犯パトロール	180回		① 防犯パトロール	180回									
	②			② 空家等対策協議会	3回		② 空家等対策協議会	1回									
	③			③ 防犯カメラ設置	7台		③ 防犯カメラ設置	5台									
	④			④			④										
	⑤			⑤			⑤										
	⑥			⑥			⑥										
	⑦			⑦			⑦										
	⑧			⑧			⑧										
	⑨			⑨			⑨										
	⑩			⑩			⑩										
	⑪			⑪			⑪										
	⑫			⑫			⑫										
	目標値に対する実績値	581	件	目標値に対する実績値	440	件	目標値に対する実績値	488	件								
決算額	計	2,991,143	円	内訳	特定財源		円	計	4,793,626	円	内訳	特定財源	1,000,000	円	一般財源	3,793,626	円
		(住民一人あたりの行政コスト)	49	円		(住民一人あたりの行政コスト)	64	円		(住民一人あたりの行政コスト)	80	円					

5 担当者評価									
成果	目標以上	成果内容	刑法犯総数500件の目標に対し、平成29年は440件と大幅に減少したが、H30年に488件と増加してしまった。目標以上ではあったが、さらなる目標を設定し犯罪件数減少を目指す。						
問題点			平成29年度は刑法犯総数440件と減少はしているものの、犯罪抑止力の更なる強化のために、主要交差点や人の出入りが多い駅周辺には防犯カメラの設置が不可欠である。このようなことから、関係機関や関係団体と連携した防犯パトロールの強化や、橋梁及び主要交差点での防犯カメラの増設等、安全で住み良い環境づくりが必要である為、継続的に多面的な防犯対策を実施していく必要がある。						

6 担当部長及び担当課長評価									
事務事業の方向性									
評価理由									

7 実施計画																		
年度	令和元年度			令和2年度			令和3年度											
事業内容	常総地区防犯協会及び関係ボランティア団体等と連携、協力し市内各地で防犯パトロール等を実施する。防犯カメラ設置計画を整備し、常総警察署生活安全課の指導のもと、適切な場所へ防犯カメラを設置し、犯罪抑止力を強化、犯罪発生時の検挙率の向上等、安全、安心なまちづくりに取り組む。 ※防犯カメラ設置予定台数 5台/年 (空家対策事業は都市計画課へ所管替えのため該当事業費を減額) ※下記予算計上額は当初予算額を記載。			常総地区防犯協会及び関係ボランティア団体等と連携、協力し市内各地で防犯パトロール等を実施する。常総警察署生活安全課の指導のもと、適切な場所へ防犯カメラを設置し、犯罪抑止力を強化、犯罪発生時の検挙率の向上等、安全、安心なまちづくりに取り組む。 ※防犯カメラ年間設置台数 3台 設置工事費3台×600,000円=1,800,000円 ※保守管理委託料 33台×26,000円=858,000円			常総地区防犯協会及び関係ボランティア団体等と連携、協力し市内各地で防犯パトロール等を実施する。常総警察署生活安全課の指導のもと、適切な場所へ防犯カメラを設置し、犯罪抑止力を強化、犯罪発生時の検挙率の向上等、安全、安心なまちづくりに取り組む。 ※防犯カメラ年間設置台数 5台 設置工事費5台×520,000円=2,600,000円 ※保守管理点検及び修繕費 38台×50,000円=1,900,000円											
成果指標	指標名	犯罪発生件数(刑法犯総数)	単位	件	目標値	460	指標名	犯罪発生件数(刑法犯総数)	単位	件	目標値	430	指標名	犯罪発生件数(刑法犯総数)	単位	件	目標値	400
予算額	歳出	計			4,323	千円	歳出	計			4,828	千円	歳出	計			6,223	千円
		特定財源				千円		特定財源			千円		特定財源				千円	
	歳入	一般財源			4,323	千円	歳入	一般財源			4,828	千円	歳入	一般財源			6,223	千円
		計			4,323	千円		計			4,828	千円		計			6,223	千円

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。市民の安全安心のためには、防犯カメラの設置が必要と考えるので、さらに増やしてほしい。									

10 最終評価(行政改革推進本部)									
事務事業の方向性									
評価理由									

11 事務事業の改善理由及び改善部分									
事業内容									